

## 2 相対度数

<課題> 次の度数分布表で、わかることはどんなことですか。

滞空時間 (秒)	5cm 度数 (回)	6cm 度数 (回)
2.00以上～2.15未満	1	4
2.15以上～2.30未満	8	11
2.30以上～2.45未満	19	30
2.45以上～2.60未満	16	54
2.60以上～2.75未満	6	37
2.75以上～2.90未満	0	11
2.90以上～3.05未満	0	3
計	50	150

わかること

- ・全体の数が 50 回と 150 回で違うので、階級が 2.00 ～ 2.15 秒のときの度数 1 と 4 をそのまま比較することはできません。そこで・・・

【相対度数】・・・各階級の度数の、全体に対する割合を**相対度数**といい、資料を比較することができます。相対度数は、

相対度数 = \_\_\_\_\_ で、求められます。

(例題) 上の表で、長さが 6cm の紙コプターで階級が 2.00 ～ 2.15 秒の相対度数は、小数第 2 位 (第 3 位を四捨五入) まで求めると、

$$\frac{4}{150} = 0.026\cdots = 0.03$$

<問題 1> 次の表は、羽の長さが 5cm、6cm、7cm の紙コプターの滞空時間の相対度数をまとめたものです。表を完成しなさい。四捨五入して小数第 2 位まで求めなさい。

滞空時間 (秒)	5cm		6cm		7cm	
	度数 (回)	相対度数	度数 (回)	相対度数	度数 (回)	相対度数
2.00以上～2.15未満	1		4		0	0.00
2.15以上～2.30未満	8		11		0	0.00
2.30以上～2.45未満	19		30		1	0.02
2.45以上～2.60未満	16		54		1	0.02
2.60以上～2.75未満	6		37		6	0.12
2.75以上～2.90未満	0	0.00	11		10	0.20
2.90以上～3.05未満	0	0.00	3		18	0.36
3.05以上～3.20未満	0	0.00	0	0.00	9	0.18
3.20以上～3.35未満	0	0.00	0	0.00	3	0.06
3.35以上～3.50未満	0	0.00	0	0.00	2	0.04
計	50	1.00	150	1.00	50	1.00

<問題 2> 次の表は、上の表から、羽の長さが 7cm の相対度数を度数分布多角形に表したものです。この図に、羽の長さが 5cm と 6cm の度数分布多角形をかき入れなさい。(相対度数)

